

第12期のご報告

2022年4月1日～2023年3月31日

ウェルネオシュガー
WELNEO SUGAR Co., Ltd.

カップエ

ウェルネオシュガー株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長 山本 貢司

代表取締役会長 仲野 真司

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年1月1日付で代表取締役社長に就任いたしました山本貢司でございます。

日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社は2023年1月1日付で経営統合を行い、ウェルネオシュガー株式会社を持株会社とした新たなグループ体制を発足いたしました。

両社の経営資源・ノウハウを結集することで、効率的なグループ経営を推進・深化するとともに、これまで両社が取り組んできた独自性の高い新素材に関する研究開発と市場展開を更に推進するなど、“Well-being”（幸せ・健康）に資する今後の成長分野や注力分野への積極的な資源の投下を行うことで、「食」と「健康」の両面で豊かな生活の実現に貢献してまいります。

また、当社グループは、5年後（2028年3月期）に向けた経営方針を策定いたしました。製糖事業を中心とした「Sugar軸」において収益性の向上と基盤の拡充を図るとともに、そこから創出したキャッシュを新たな成長領域となる「Food & Wellness軸」において成長投資を積極的に行い、規模拡大を目指してまいります。

Sugar軸におきましては、消費者の皆様に対して、生活必需品である安全・安心な砂糖を安定的に供給することで社会的責任を果たしていくことを最優先に取り組みながら、経営統合によるシナジー効果を早期に実現し、経営効率の追求等を通じた収益性向上による更なる基盤強化により、業績の向上を目指してまいります。

Food & Wellness軸におきましては、食と健康をテーマに、両社保有のアセット・知見を最大限活用し、多種多様な機能性素材の提供、研究開発機能・マーケティング強化および積極投資を進めるとともに、からだづくりの“場”の提供を通じて「糖を核に食と健康のトップリーダー」を目指してまいります。

今後とも、あらゆるステークホルダーの皆様“Well-being”の実現に注力してご信頼とご期待にお応えすべく、公正で透明性の高い事業運営を行うとともに、持続的な成長と更なる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 山本 貢司

経営統合について

日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社は2023年1月1日付で経営統合を行い、ウェルネオシュガー株式会社を
持株会社とした新たなグループ体制を発足いたしました。

両社が保有する知見やリソースを集結し、経営基盤の強化と新たな事業領域の拡大に拍車をかけ、一層の企業価値
向上を図ることにより、ウェルビーイング (Well-being) を実現する製糖業界のリーディングカンパニーを目指してま
いります。

【新社名】

WELLNEO SUGAR

ウェルネオシュガー株式会社

Well-being (幸せ・健康) + Neo (常に若々しく・日々新たに) + Sugar (糖を基軸に)

常に若々しく、日々新たな挑戦を続けながら、
糖を軸とした高品質な製品・サービスの提供により、
人々の幸せと健康を創造する。

【経営理念】

パーパス&バリューを軸に、すべての事業活動を通じて、
より良い社会づくりに貢献してまいります。

Purpose

存在意義

糖のチカラと可能性を切り拓き
“Well-being” を実現する

Values

価値観

挑戦

常に若々しく、
自ら高い志を掲げ
日々新たに挑戦し続けます

多様性

多様な価値観を受容し、
個々の違いや個性を強みとしつつ、
一体感を持った組織であり続けます

持続可能性

責任ある事業活動で、
持続可能な社会の実現に
貢献し続けます



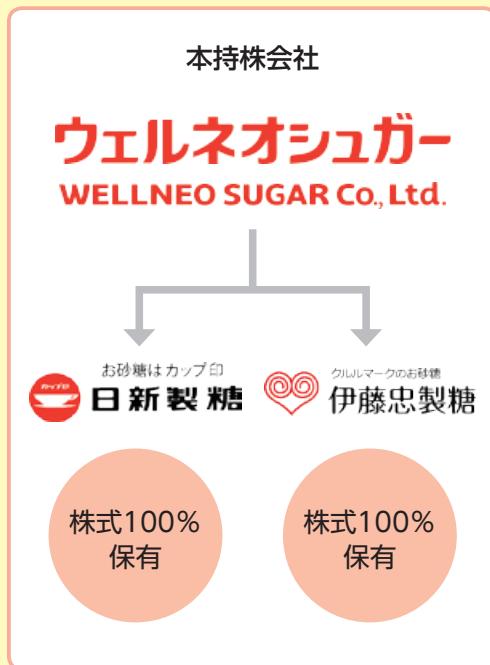
吸収合併について

当社は、当社を存続会社として、2024年10月1日(予定)に当社の100%子会社である日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社を吸収合併(以下、「本合併」といいます。)することといたしました。

本合併により、不確実性の高まる事業環境において、経営基盤を強固なものとし、適切なグループガバナンスのもとで迅速な意思決定を行い、シナジー効果を早期に発揮するとともに、業務効率化による収益力の向上を図り、成長分野への積極的な資源の投下を推し進め、一層の企業価値の向上を目指してまいります。

2023年1月

不確実性が高まる事業環境において、企業価値の発展を図るために経営統合を実施。



2024年10月

ウエルネオシュガー、日新製糖、伊藤忠製糖の3社が完全統合。新会社はウエルネオシュガーとする。



ウェルネオシュガー

WELLNEO SUGAR Co., Ltd.

機動性・柔軟性を求め、
三社一体型の完全統合を
2024年10月に実行

お砂糖はカップ印



日新製糖

生産

大阪(自社工場)
千葉(共同工場)

物流

東北・関東・関西を
中心に供給

販売

B to C強い
高付加価値商品
(きび砂糖®、氷砂糖、
フロスト®等)

4工場中3工場が
自社工場で、
柔軟かつ機動的に
(現在の個別工場最適から)
4工場で最高の
生産体制を実現



クルルマークのお砂糖

伊藤忠製糖

生産

愛知(自社工場)
宮崎(自社工場)

物流

中部・九州を
中心に供給

販売

B to B強い

組織・生産拠点の機動性・柔軟性を起爆剤とし、
統合シナジーを早期に最大化させる

“Well-being”の実現

Sugar

製糖のリーディングカンパニーとしての
経営基盤の更なる強化

- ① 安全・安心・安定的な供給
- ② 環境・社会に配慮した供給体制の維持
- ③ 統合シナジー創出・成長投資の原資捻出

Food & Wellness

多種多様な機能性素材の提供

- ① お客様が求める多様な食の提供
- ② からだづくりの“場”の提供

※Food & Wellnessは機能性素材、その他甘味料、フィットネス事業、フィルム事業等から構成されています。
現在の財務報告セグメントとは異なり、将来的にセグメントの変更を検討中です。

【経営方針の位置づけ】

経営方針

Sugar軸での早期キャッシュ創出
成長分野への投資・リソース配分

営業利益
95億円

連結純利益
70億円

ROE
8%

将来的にありたい姿

糖のチカラと可能性を切り拓き
人々の“Well-being”に貢献します

Food & Wellness軸を拡大し、
Sugar軸に比する
規模感とする

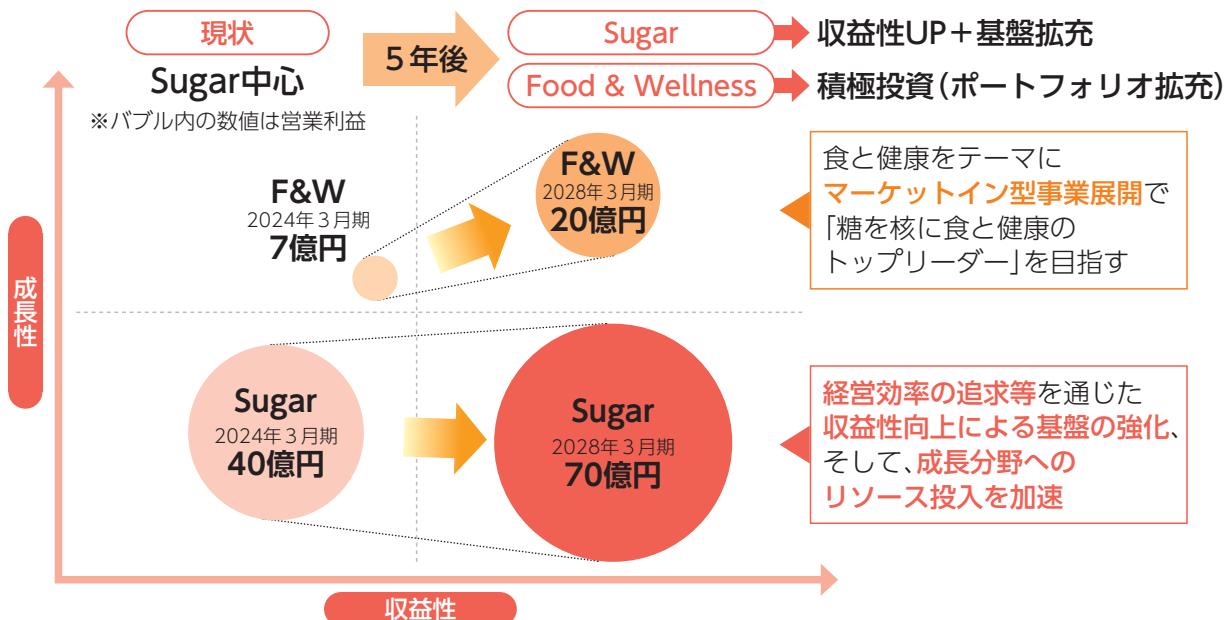
2024年6月 中期経営計画発表予定

次期経営計画

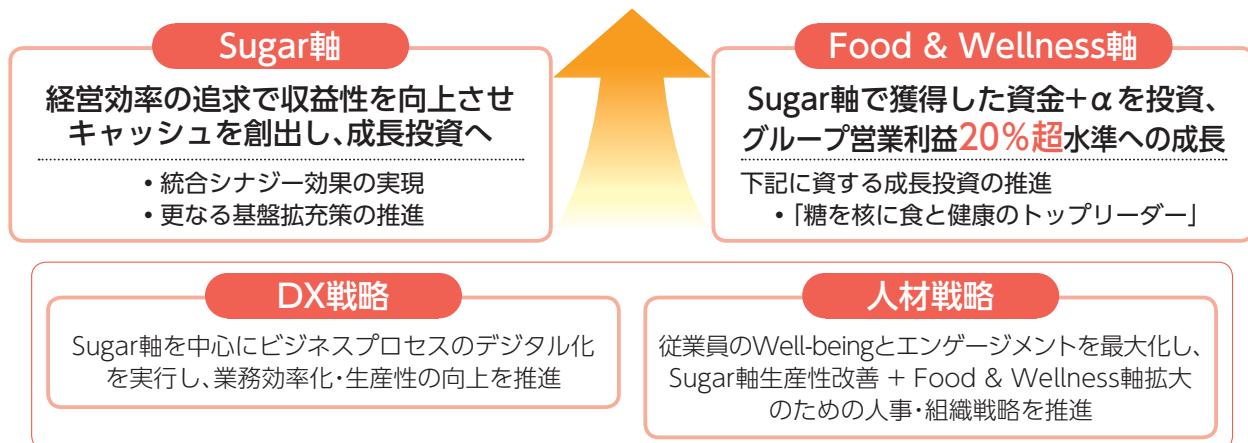
2023～2027年度

長期Vision

事業ポートフォリオ方向性



5年後に
連結純利益70億円/年を目指す



業績のご報告

当社グループは、2020年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

2023年1月1日付の経営統合を踏まえ、以下の当期の経営成績等は、経営統合前の日新製糖グループの第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)の経営成績等と、経営統合後の日新製糖グループおよび伊藤忠製糖グループからなるウェルネオシュガーグループの第4四半期連結会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)の経営成績等を取り込んだものとなります。このため、当連結会計年度の主要な経営指標等の各計数は、前連結会計年度と比較して大幅に変動しています。

当連結会計年度におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大、ウクライナ情勢の緊迫化による資源価格上昇や、日米金利差拡大を背景とした円安等の影響による物価上昇等、景気のマイナス要因が多くみられました。一方で、同感染症が一服したことによる人流の増加や、インバウンド需要の増加もみられ、景気は緩やかに持ち直している傾向にあります。全国旅行支援や物価高対策等が継続的に行われていることから、引き続き景気回復が期待されますが、金利上昇による世界経済の減速、資源価格上昇や円安による物価上昇等により先行きは不透明な状況です。

当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症が一服したことによる人流の増加等の影響により、砂糖全体の出荷量が前期を上回ったことや、経営統合を行ったことにより、売上収益は58,347百万円(前期比26.7%増)となりました。一方で、原料調達コスト・エネルギーコスト等の上昇や、経営統合関連費用の計上、健康産業事業での固定資産の減損損失計上により、営業利益は1,606百万円(同25.8%減)、税引前利益は1,804百万円(同25.3%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,062百万円(同38.1%減)となりました。

連結業績におけるセグメントの概況は以下のとおりです。なお、各セグメント利益は全社費用203百万円を含んでいません。

砂糖その他食品事業

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり19.42セントで始まり、主要生産国であるブラジルで国内ガソリン価格の引き下げや燃料減税により、エタノールよりも砂糖生産にシフトするとの思惑から8月初旬に今期安値となる17.20セントまで下落しました。11月以降は欧州のビート減産懸念に加え、インド・タイなど北半球の生産国において生産見通しの下方修正が続き、需給逼迫を意識した投機的な買いを背景に値が上がり、3月末には今期高値となる22.36セントまで値を上げて、22.25セントにて当期を終了しました。

一方、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては上白糖1kg当たり204円～205円で始まり、海外原糖市況の高騰を受け、8月初旬に12円、2月中旬にも11円～12円と合計23円～24円上昇し、227円～229円で当期を終了しました。

海外原糖市況(ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限))

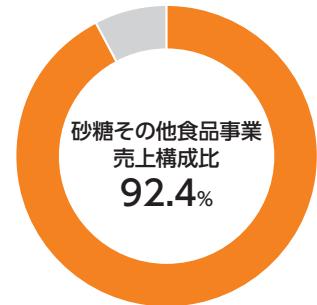
日付	セント/ポンド	円/kg	為替(円/ドル)
始値2022年4月1日	19.42	52.75	123.20
高値2023年3月31日	22.36	66.32	134.53
安値2022年8月1日	17.20	50.78	133.91
終値2023年3月31日	22.25	65.99	134.53

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新しい生活様式の定着等により、製菓・製パン販売等が回復し、全国旅行支援策等による人流の増加によって土産菓子、外食関係で回復がみられたことにより、業務用製品が増加しました。家庭用製品は伸び悩みましたが、独自製品のきび砂糖[®]の出荷は好調に推移しました。加えて、砂糖全体の出荷量は伊藤忠製糖グループを連結したことにより前期に比べ大幅に増加しました。一方で、利益面においては、海外原糖市況の高騰を受けた原料調達コストおよびエネルギーコスト等の上昇、経営統合関連費用の計上により前期を下回っています。

ツキオカフィルム製菓株式会社につきましては、食用純金箔事業においてコロナ禍からの回復に加え、海外向け製品の出荷が増加する一方で、フィルム事業ではコロナ禍の影響等で需要があった製品の出荷が減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は53,941百万円(前期比27.9%増)、セグメント利益は1,680百万円(同15.0%減)となりました。

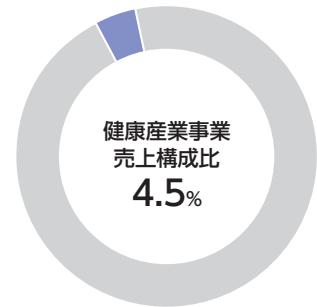


健康産業事業

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の余波が残っているものの、休業や時短営業等の対象店舗・期間が減少し営業日数が増加したこと、月会費の値上げを実施したこと、および会員数が増加したこと等により売上収益は2,614百万円(前期比12.8%増)となりました。一方で、燃料費高騰の影響を受けたこと、また固定資産の評価において各店舗の将来の利益計画の見直しを行った結果、減損損失145百万円を計上したことにより、セグメント損失は204百万円(前期はセグメント損失71百万円)となりました。なお、前期はコロナ関係助成金を受けております。



地域貢献事業として今年3月に「健康フェスタ」を開催。(東京都江東区、ショッピングセンターSUNAMOにて)

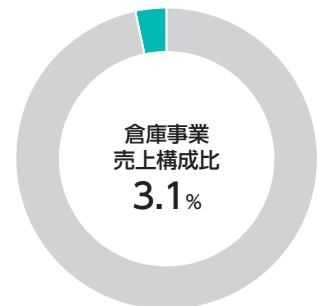


倉庫事業

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の取扱量が大幅に増加したことにより、売上収益は1,791百万円(前期比14.0%増)、セグメント利益は333百万円(同28.6%増)となりました。



ニューポート産業株式会社



対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制緩和も後押しし、人流回復などアフターコロナを見据えた社会・経済活動の正常化の兆しが見える一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢等による原材料やエネルギー価格の高騰など、2023年度においても先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社は、2023年1月1日に経営統合を行い、当社を持株会社とするグループ体制へと移行いたしました。日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社の経営資源・ノウハウを結集し、効率的なグループ経営を推進・深化するとともに、これまで両社が取り組んできた独自性の高い機能性素材の研究開発と市場展開を更に推進するなど、“Well-being”（幸せ・健康）に資する今後の成長分野や注力分野への積極的な資源の投下を行うことで、「食」と「健康」の両面で豊かな生活の実現に貢献してまいります。

当社グループは、2023年6月1日に開示いたしました「ウェルネオシュガーグループの経営方針について」に記載のとおり、2028年3月期に向けた経営方針を策定いたしました。製糖事業を中心とした「Sugar軸」において収益性の向上と基盤の拡充を図るとともに、そこから創出したキャッシュを新たな成長領域となる「Food & Wellness軸」において積極投資を行ってまいります。以下はその概要となります。

まずSugar軸におきましては、国内砂糖消費量は、コロナ禍による落ち込みからは徐々に回復しつつあり、依然として新型コロナウイルス感染症への警戒感が続くものの、その影響は落ち着きを見せはじめ、インバウンド需要の回復も見込まれます。その一方で、海外原糖市況は主要生産国における減産等の影響に投機資金の動きも加わる先行きを見通しにくい環境にあり、また地政学的リスクや円安にともなう国内物価上昇の傾向から消費購買意欲の低下が懸念されるなど、今後も不透明かつ厳しい市場環境が見込まれます。当社グループとしては、消費者の皆様に対して、生活必需品である安全・安心な砂糖を安定的に供給することで社会的責任を果たしていくことを最優先に取り組みなが



カップオリゴ。
シロップタイプ
(通販限定)



カップオリゴ。
錠剤タイプ
(通販限定)



沖縄・奄美の
きびオリゴ

Food & Wellness軸 — 全体像 —

日新製糖と伊藤忠製糖保有アセット・知見の最大限活用 および 積極的な成長投資を推進

多種多様な機能性素材の提供

オリゴ糖・ケトース
(プレバイオティクス)

サイクロデキストラン

その他機能性素材

可食フィルム(脱プラ)

医療・研究機関
との連携



からだづくりの“場”の提供

フィットネスジム

食と健康による “Well-being”の実現

お客様の様々なニーズに即した
商品・サービスの提供

社会
ニーズ
市場

ツルヤ化成工業への出資

2023年5月1日に伊藤忠製糖からツルヤ化成工業への出資（20.03%）を実施

ウェルネオシュガー
WELLNEO SUGAR Co., Ltd.

株式取得による協業



ツルヤ化成工業株式会社

• Food & Wellness軸として多種多様な機能性素材を提供

• 高甘味度甘味料を中心とした食品添加物マーケットにおいて高い競争力を有する
• お客様のニーズに応え様々な食品素材、高機能性食品等の製造・販売を行う

マーケットイン型の営業開発機能を強化し、機能性素材分野を拡大

ら、採算性を重視したオペレーションに努め、今般の経営統合によるシナジー効果を早期に発揮し、生産から販売までの最適化や、きび砂糖[®]をはじめとする高付加価値品販売の推進を軸とする商品力・販売力の強化を図ることにより、業績の向上を目指してまいります。また、今後も業界再編の動きが更に加速していくことが予想され、この動きに適切に対応できるよう、引き続き、経営効率と経営品質の向上に努めてまいります。

Food & Wellness軸におきましては、機能性素材分野を当社グループの重点領域と位置づけ、2023年6月1日に社長直轄組織として「ネオ機能性素材部」を新設し、カップオリゴ[®]（ガラクトオリゴ糖）やきびオリゴ（フラクトオリゴ糖）などの腸内環境の改善に資する機能性甘味料素材の販売拡大を目指すほか、プレバイオティクス素材であるケストースやオーラルケア分野での効果が期待される当社グループ独自のサイクロデキストランなどの機能性素材については、産学連携の研究開発と需要の更なる深掘りを進めてまいります。また、2023年5月1日に伊藤忠製糖株式会社が新たに株式を取得したツルヤ化成工業株式会社との連携を図り、多種多様な甘味料素材など食品添加物の取り扱いの拡大も進めてまいります。グループ会社のツキオカフィルム製薬株式会社については、箔押事業、食用純金箔事業、フィルム事業それぞれにおいて、顧客ニーズを深掘りした商品開発や認知度向上を図り、新規顧客の獲得による商圏の拡大に努め、業績の回復と向上を目指してまいります。

健康産業事業では、店舗の業態変更やDX推進により、収益力の改善と下方耐性の強化に努めるなか、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行したことによって、フィットネス参加率の回復傾向も見られ始めました。しかしながら、依然としてコロナ禍の影響は尾を引いており、また、首都圏を中心として新たなコンセプトを持つ競合サービスの台頭など多様化も進み、引き続き厳しい経営環境が続いております。今後も感染防止策を徹底していくなかで、お客様の健康維持増進に貢献し、新常态を見据えた店舗運営体制を構築しながら、安全・安心かつ需要に対して最適なベストサービスの提供に努めることにより、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業は、既存取引先との安定した取引を継続し、今後も物流需要に的確に応えながら、新規取引先の開拓を進めていくなかで、適正な在庫水準の維持と稼働率の向上を目指してまいります。

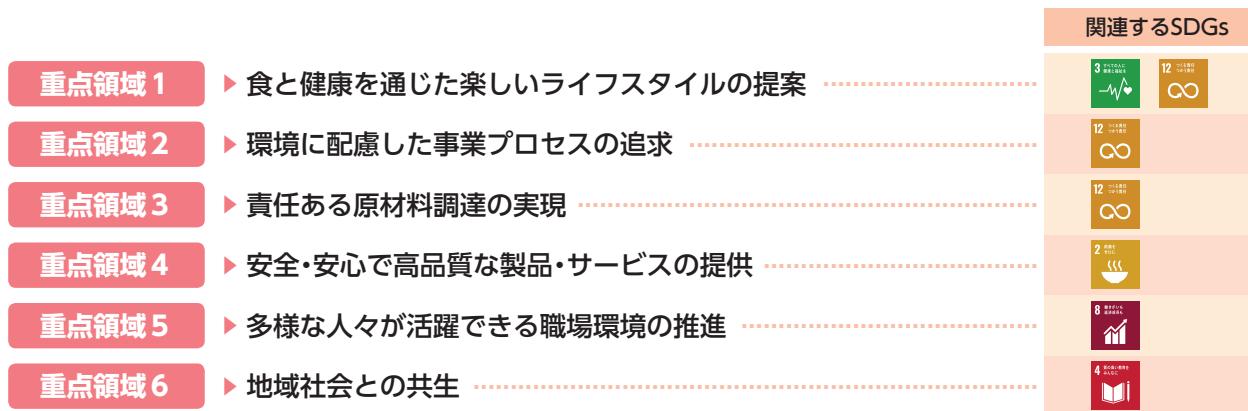
重要な経営課題でありますサステナビリティの推進につきましては、サステナビリティ推進委員会を中心として、人権方針およびCSR調達方針を制定し、各方針に沿った事業活動を展開しております。今後、当社グループとしてのマテリアリティへの取り組み推進に向けた施策の検討、ならびに事業戦略に沿った人材・組織戦略および人材育成方針の策定を行い、最適化された事業運営体制のもと、サステナブル企業として、あらゆるステークホルダーの“Well-being”の実現に注力してまいります。

こうした取り組みを加速させるため、2024年10月1日には、当社と日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社が合併し完全統合することを予定しております。今後も、事業環境の変化を適切に捉えながら、ガバナンス体制の強化、既存事業の成長と事業領域の拡大を着実に進め、強固な経営基盤を構築することにより、プライム市場の上場会社として、更なる企業価値向上に努めてまいります。

サステナビリティ基本方針

当社グループは、「挑戦」「多様性」「持続可能性」をすべての事業を行う上で最も大切にしている価値観として捉えており、企業の社会的責任を果たしていくことはもちろんのこと、環境・経済・社会の課題解決と事業による経済的価値の創造の両立、すなわちCSV（社会と企業の共通価値の創造）を意識した活動を通じて、自社と社会の持続的な発展を目指し、社会から認められるサステナブル企業として中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

サステナビリティの推進は、サステナビリティ推進委員会を中心に、2015年に国連全加盟国（193カ国）によって採択されたSDGsの最終年である2030年における当社のありたい姿を、以下の6つの重点領域として定め、それら重点領域を支える事業活動の基盤としてコーポレートガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメントと合わせて中長期目標を設定し、従業員一丸となって引き続き取り組んでまいります。



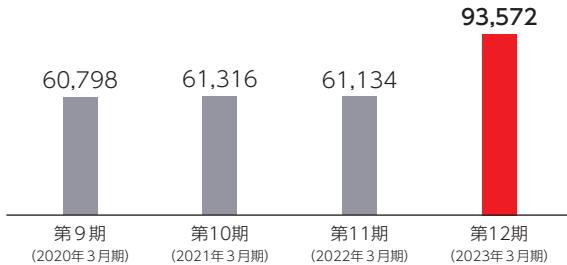
また、投資家とのサステナビリティに関する建設的な対話を推進する観点から、サステナビリティに関する開示を行ってまいります。特に、気候変動に係るリスクおよび収益機会が当社グループの事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を行い、国際的に確立された開示の枠組みであるTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）またはそれと同等の枠組みに基づく開示をしてまいります。



連結財務ハイライト

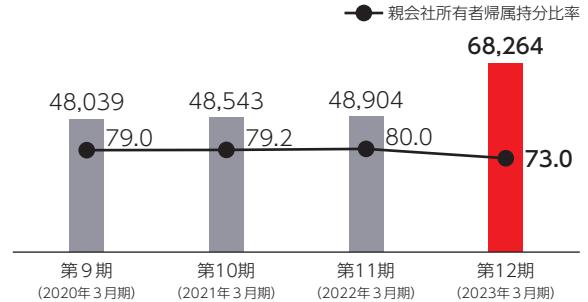
資産合計

(単位：百万円)



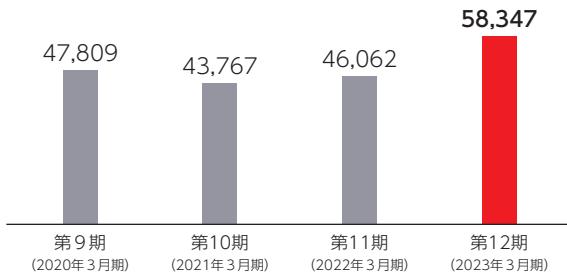
資本合計 (親会社所有者帰属持分比率)

(単位：百万円/%)



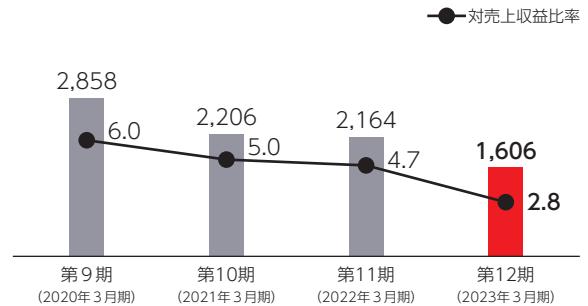
売上収益

(単位：百万円)



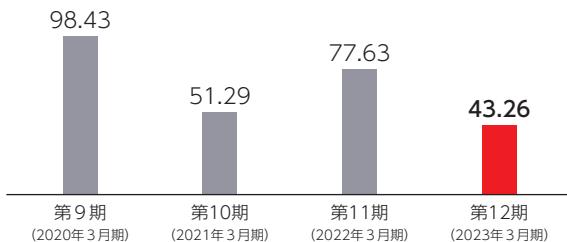
営業利益 (対売上収益比率)

(単位：百万円/%)



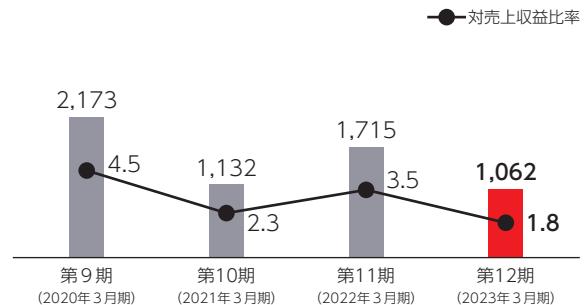
基本的1株当たり当期利益

(単位：円)



親会社の所有者に帰属する当期利益 (対売上収益比率)

(単位：百万円/%)



連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 (2023年3月31日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
(資産)		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,263	7,649
営業債権及びその他の債権	7,446	4,827
その他の金融資産	1,025	6,140
棚卸資産	14,614	6,204
その他の流動資産	633	255
流動資産合計	34,983	25,078
非流動資産		
有形固定資産	18,403	11,238
使用権資産	2,785	2,787
のれん	14,280	2,515
無形資産	411	311
持分法で会計処理されている投資	14,112	11,925
その他の金融資産	6,627	5,960
退職給付に係る資産	366	670
繰延税金資産	144	142
営業債権及びその他の債権	10	5
その他の非流動資産	1,446	498
非流動資産合計	58,588	36,056
資産合計	93,572	61,134

科目	当 期 (2023年3月31日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
(負債及び資本)		
負債		
流動負債		
借入金	9,000	1,300
営業債務及びその他の債務	6,789	3,028
リース負債	890	944
その他の金融負債	516	32
未払法人所得税等	406	403
引当金	20	—
その他の流動負債	2,404	1,889
流動負債合計	20,028	7,597
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,718	2,908
その他の金融負債	101	108
退職給付に係る負債	327	262
引当金	507	419
繰延税金負債	1,565	896
その他の非流動負債	58	35
非流動負債合計	5,279	4,632
負債合計	25,308	12,230
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	34,687	11,614
自己株式	△3,534	△292
その他の資本の構成要素	1,546	1,488
利益剰余金	28,563	29,093
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,264	48,904
資本合計	68,264	48,904
負債及び資本合計	93,572	61,134

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. 1株当たり親会社所有者帰属持分 2,083円71銭

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)	前 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
売上収益	58,347	46,062
売上原価	49,079	37,854
売上総利益	9,268	8,207
販売費及び一般管理費	7,543	6,168
その他の収益	68	166
その他の費用	187	41
営業利益	1,606	2,164
金融収益	117	89
金融費用	59	58
持分法による投資利益	139	219
税引前利益	1,804	2,414
法人所得税費用	741	699
当期利益	1,062	1,715
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,062	1,715
非支配持分	—	—
当期利益	1,062	1,715

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. 基本的1株当たり当期利益 43円26銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)	前 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,625	2,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,609	△651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,684	△2,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△699	△875
現金及び現金同等物の期首残高	7,649	8,524
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,314	—
現金及び現金同等物の期末残高	11,263	7,649

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結持分変動計算書

当期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								合計	
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				利益剰余金		合計
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日残高	7,000	11,614	△292	35	1,453	—	1,488	29,093	48,904	48,904
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,062	1,062	1,062
その他の包括利益	—	—	—	123	155	△161	117	—	117	117
当期包括利益合計	—	—	—	123	155	△161	117	1,062	1,179	1,179
自己株式の取得	—	—	△3,245	—	—	—	—	—	△3,245	△3,245
配当金	—	—	—	—	—	—	—	△1,480	△1,480	△1,480
株式交換による変動	—	23,063	—	—	—	—	—	—	23,063	23,063
株式報酬取引	—	9	3	—	—	—	—	—	13	13
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△49	161	111	△111	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△170	—	—	△170	—	△170	△170
所有者との取引額合計	—	23,073	△3,241	△170	△49	161	△59	△1,591	18,179	18,179
2023年3月31日残高	7,000	34,687	△3,534	△12	1,559	—	1,546	28,563	68,264	68,264

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

株主還元について

2023年3月期の期末配当・記念配当について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分当り率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。

加えて、当期は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、経営統合を記念し、1株当たり7円の記念配当を実施いたします。

年間普通配当金額につきましては、上記方針を本決算数値に適用し算定した結果、1株当たり63円といたします。

これにより、1株当たり期末配当金額につきましては、1株当たり年間普通配当金額63円から2022年12月に実施しました1株当たり中間配当金額33円を差し引いた30円に、経営統合の1株当たり記念配当金額7円を加えた、37円といたします。

[1株当たり年間配当金額の算定式]

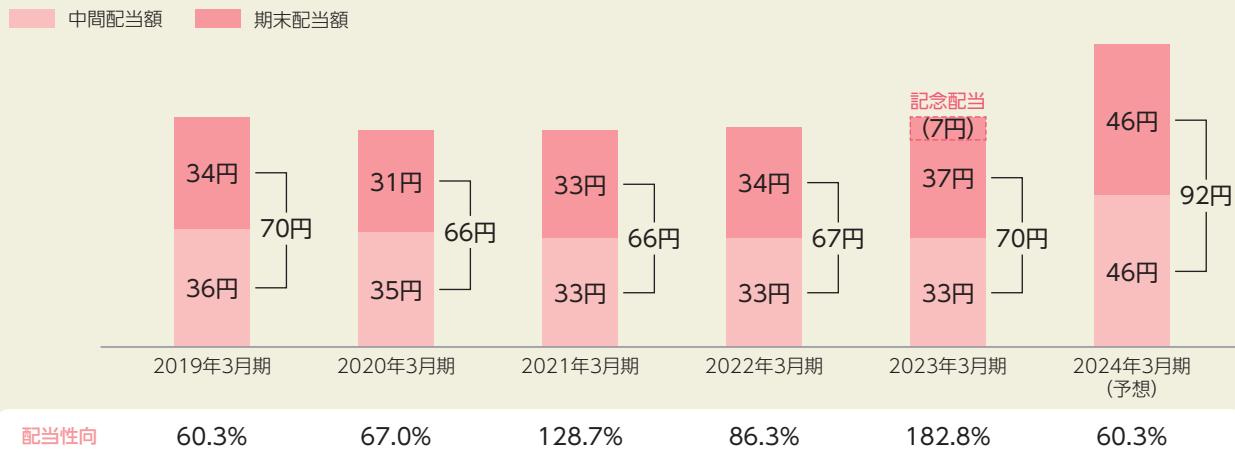
連結配当性向（DPR）60%基準

期末基本的1株当たり連結当期利益32.43円の60% = **20円**（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分当り率（DOE）3%基準

期末1株当たり親会社所有者帰属持分2,083.71円の3% = **63円**（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分当り率（DOE）3%基準63円の方が大きいため、**63円**を普通配当の1株当たり年間配当金額とし、経営統合の1株当たり記念配当金額**7円**と合わせ、1株当たり年間配当金額は**70円**といたします。



2024年3月期1株当たり年間配当額(予想)

92円 (DPR60%基準)

株主優待のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援を感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様に当社株式を長期的に保有していただくため、株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の株式を保有されている株主様

株主優待の内容

保有期間3年未満の株主様には下記1,000円相当の当社グループ製品をお送りします。



沖繩・奄美のきびオリゴ

沖繩・奄美の国産さとうきび100%にこだわったフラクトオリゴ糖シロップです。さとうきびの豊かな風味を生かしたブラウンタイプなので、お料理にコクが出て美味しく仕上がります。沖繩・奄美のきびオリゴのカロリーは、お砂糖と比較すると30%オフです。

【伊藤忠製糖】



ヨーグルト用のお砂糖

ヨーグルトや冷たい水にもサッと溶けるフロスト。シュガーのスティックタイプ。溶けやすくソフトな味わいなので、ヨーグルトだけでなく果物やお菓子にかけてもおいしく召し上がれます。

【日新製糖】



きび砂糖,750g

大自然の恵みをいっぱい浴びて育ったさとうきびの風味が活かされた、まるやかな甘さのお砂糖です。他のお砂糖にはない独特のココのあのおいしさが味わえます。粉末タイプのため、お料理はもちろん、お菓子づくりなどにも手軽にお使いいただけます。

【日新製糖】

保有期間3年以上の株主様には上記3品に加えて下記4品を追加した計7品、2,000円相当の当社グループ製品をお送りします。



クルルのおいしいオリゴ糖

お砂糖の原料となる「てんさい(国産)」から作られたフラクトオリゴ糖シロップです。クセの無い自然な甘さが特徴で、そのまま口にしてもおいしく頂けます。クルルのおいしいオリゴ糖のカロリーはお砂糖の約1/2です。

【伊藤忠製糖】



三温糖1kg(チャック付)

三温糖はグラニュー糖や上白糖に比べ特有の風味と色を持っているのでココの生きる煮物や佃煮に最適なお砂糖です。伊藤忠製糖の三温糖はさとうきび本来の風味を残しながら製造しているため、美味しく仕上がっています。

【伊藤忠製糖】



氷砂糖クリスタル200g

氷砂糖は梅酒をはじめとした色々な果実酒用として定番のお砂糖ですが、レジャーのおともなどで手軽に食べられるように200gに小分けしました。

【日新製糖】



白砂糖500g

どんな料理や飲料にも合う一番一般的なお砂糖です。一般に上白糖とも呼ばれ、しっとりとしているのが特長です。

【日新製糖】

- (注) 1. 「保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主様(同一の株主番号で100株以上を、3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主様)といたします。
2. 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その期末の基準日(3月31日)から起算いたします。

贈呈時期

毎年6月の定時株主総会開催後、7月上旬にかけての発送を予定しております。7月中旬を過ぎてもお受け取りになられていない株主様は下記あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

ウェルネオシュガー株式会社株主優待事務局 (フリーダイヤル) **0120-260-558**

受付時間 9:00-17:00(土日祝日を除く) 受付期間 2023年8月31日(木)まで(以降は03-3668-1246 日新製糖(株)総務部)

※ご不在などでお受け取りできなかった株主優待品の再発送の受付は2023年9月29日(金)までとなります。ご了承のほどお願いいたします。

株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。



日新製糖株式会社のご案内

当社は、「カップ印」ブランドの砂糖の製造・販売を中心とした砂糖その他食品事業を行っております。多彩な商品ラインアップが特徴で、家庭用・業務用とも豊富なアイテムを取り揃えており、そのなかでも当社が開発したスティックタイプの「カップシュガー」や即溶性顆粒状砂糖の「フロスト®シュガー」、さとうきびの風味を活かした「きび砂糖®」は、消費者の嗜好にマッチしたロングセラー商品となっています。また、「総合甘味サプライヤー」として、砂糖以外の甘味料も取り扱っており、今後の更なる商材の拡充に向けて、新商品の開発・研究に取り組んでいます。

健康産業事業と倉庫事業は、ともに1970年代より展開しており、お客様・取引企業様の永年にわたる信頼を得ています。子会社の(株)日新ウエルネスは、「ドゥ・スポーツプラザ」、「A-1 EXPRESS」などのフィットネスクラブを運営しています。

顆粒状砂糖 フロスト®シュガー



多孔質（細かい穴の空いた構造になっている性質）で顆粒状のお砂糖です。

「素早く溶けるお砂糖が欲しい」というお客様のご要望にお応えし、当社が開発しました。

霜のように水にすぐ溶け、フォンダンなどの砂糖衣がけを容易に作れる、という特長から、商品名は、霜=frost、衣がけする=frostingという英語に由来し、「フロストシュガー(frost Sugar)」と名づけられました。



- ①冷たい水にも短時間でサッと溶けます。
- ②クリーム類のホイッピングの際に短時間で膨らみがよくなります。
- ③多孔質で表面が凸凹しているため、混ぜ合わせる食材と絡み合って混ぜりやすくなります。



この商品は公式オンラインストアでご購入いただけます。

ホームページアドレス <https://www.nissin-sugar.co.jp>

伊藤忠製糖株式会社のご案内

当社は、高品質の砂糖の供給を目的として、伊藤忠商事株式会社の全額出資により、1972年に設立され、新設精糖工場として、1974年より操業を開始いたしました。

以降、中部圏を中心に安全・安心で高品質の砂糖を提供してまいりました。

当社製品の「♥クルルマーク」は、家庭用、業務用ともに信頼あるブランドとして、広くお客様からご愛顧いただいております。

私たち伊藤忠製糖は「笑顔のためにできること」を合言葉にこれからも安全・安心で「愛情」のこもった製品をお届けし、皆様に愛され続ける“クルルの砂糖”を目指してまいります。

“クルル”の由来は、砂糖を意味するフランス語“シュクル【Sucre】”から来ています。「ハード」を「心と心の触れ合い」、「信頼」のシンボルとして、料理やお菓子を作るとき、愛情と砂糖がクルクル溶け込んでいくイメージから当社ブランド“クルルマーク”が誕生しました。

さとうきび本来の豊かな風味 毎日の健康維持に 沖縄・奄美のきびオリゴ



特徴

- ①原料へのこだわり
沖縄・奄美の国産さとうきび100%にこだわったフラクトオリゴ糖シロップです。
- ②毎日の健康維持に
ビフィズス菌の栄養源。カロリーは砂糖と比べて30%オフ。
- ③味のおいしさ
さとうきび本来のやさしい風味を残したブラウンタイプ。
お料理にコクが出て美味しく仕上がります。

ホームページアドレス <https://www.itochu-sugar.com>

企業情報 (2023年3月31日現在)

会社概要

商号	ウェルネオシュガー株式会社 (WELLNEO SUGAR Co., Ltd.)		
本店所在地	東京都中央区日本橋小網町14番1号		
設立	2011年10月3日		
資本金	70億円		
事業内容	グループ経営管理事業及び資産管理事業		
役員	(2023年6月28日現在)		
代表取締役会長	仲野 真司	常勤監査役	川口 多津雄
代表取締役社長 執行役員社長	山本 貢司	常勤監査役	今井 秀明
取締役 専務執行役員	大久保 亮	監査役 (社外)	和田 正夫
取締役 常務執行役員	瀬野 大輔	監査役 (社外)	成瀬 圭珠子
取締役 (社外)	飯塚 佳都子	(取締役に兼任者を除く執行役員は以下のとおりです。)	
取締役 (社外)	藤原 浩	執行役員	山口 康雄
取締役 (社外)	山東 理二	執行役員	伊藤 成人
取締役 (社外)	南 勝之	執行役員	大場 健司
取締役 (社外)	太田 晋二		

グループ会社

会社名	主要な事業内容
子会社	
日新製糖株式会社	砂糖その他食品の製造販売
伊藤忠製糖株式会社	砂糖および糖類ならびにその副産物の製造加工および販売
第一糖業株式会社	精製糖の製造および販売
新豊食品株式会社	砂糖等の加工および包装
ツキオカフィルム製菓株式会社	造粒事業・食用純金箔事業およびフィルム事業
日新サービス株式会社	合成樹脂等の販売
シー・アンド・エス・サービス株式会社	伊藤忠製糖株の設備の点検・保全・管理・運送代行業務の受託
株式会社日新ウェルネス	フィットネスクラブの運営
ニューポート産業株式会社	冷蔵倉庫・港湾運送業
関連会社	
新東日本製糖株式会社	精製糖等の製造
新光糖業株式会社	国産分蜜糖の製造、販売
南栄糖業株式会社	原料用粗糖の製造、販売
久米島製糖株式会社	原料用粗糖の製造、販売
新中糖産業株式会社	不動産賃貸業
衣浦埠頭株式会社	埠頭業、倉庫業、港湾運送業、通関業、貨物利用運送事業
衣浦ユーティリティ株式会社	蒸気・電気・用水の供給、排水の処理業務の提供

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権3月31日 期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況

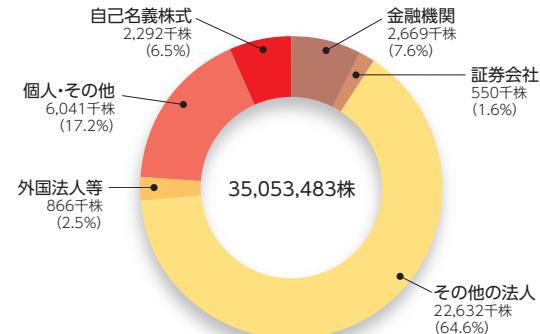
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	35,053,483株 (自己株式2,292,530株を含む)
株主数	23,055名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	12,379	37.8
住友商事株式会社	8,296	25.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,093	3.3
株式会社三井住友銀行	739	2.3
ブルドックソース株式会社	399	1.2
むさし証券株式会社	306	0.9
平野 孝憲	298	0.9
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	249	0.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	213	0.7
株式会社ヤクルト本社	194	0.6

(注) 1. 当社は、自己株式を2,292,530株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



1. 住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他の手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。

証券会社等の口座に記録された株式…口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
※株券電子化前[「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)]を利用されていなかった株主様のご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された[特別口座]に記録されています。

2. 未払配当金のお支払については、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。



夏を感じるレモンの酸味と
きび砂糖[®]の優しい甘さの相性がいい。
海老の他にもイカやホタテ、
鶏ささみもおすすめ。

人気料理店「賛否両論」店主の笠原将弘さんが考案した旬の食材ときび砂糖[®]で作る和食レシピ

四季のコクうまきび砂糖[®]レシピ

トマトと海老のレモン煮



材料(作りやすい量)

- ・トマト 2個
- ・海老 6本
- ・大葉 5枚
- ・片栗粉 適量
- ・レモン 1個

- A
- ・だし 300cc
 - ・きび砂糖[®] 大さじ1
 - ・うすくちしょうゆ 大さじ1.5



作り方

- 1 トマトはへたを取り、湯むきして皮をむく。
- 2 大葉は千切りにして、さっと水にさらす。
- 3 レモンは半分をしぼり、半分を輪切りにする。
- 4 海老は殻と背わたを取り、片栗粉をまぶして、さっと茹でて水に落とす。
- 5 鍋にAを入れ、火にかけて一煮立ちさせる。
①、④を加えてもう一度一煮立ちさせ、火を止めて③を加えてそのまま冷やす。
- 6 器に盛り、大葉をとめる。

笠原将弘さん
のひとこと

レモンを加えて冷ます時に味が染み込む。上にペーパータオルをかぶせておくことで全体に味が染みわたる。海老に片栗粉をまぶすのは、葛打ち(くずうち)という手法。ぶるんとして味も絡みやすくなるし、つるつとした口当たりが夏らしさを感じさせてくれる。

クルルのおいしいレシピ

きびオリゴの簡単フルーツ焼きプリン



材料(2人分)

- ・卵 1個
- ・卵黄 1個
- ・沖縄・奄美のきびオリゴ 大さじ2
- ・牛乳 150ml
- ・バニラビーンズ又はバニラエッセンス 少々
- ・沖縄・奄美のきびオリゴ 大さじ2
- ・お好みのフルーツ 適量
- ・セルフィーユ 2枝



作り方

- 1 ボウルに卵、卵黄を溶きほぐし、沖縄・奄美のきびオリゴと牛乳を少しずつ入れて混ぜ合わせる。
- 2 ①にバニラビーンズ又はバニラエッセンスを加えてプリン型に注ぎ入れる。
- 3 オープンプレートに新聞紙を敷いてお湯を張り、②をのせて140度のオーブンで40分程焼く。
- 4 ③の粗熱を取り、冷蔵庫で冷やし、お好みのフルーツやセルフィーユを飾り、沖縄・奄美のきびオリゴをかけて完成。

コツ・ポイント

- 2で泡を残すとすが立つ(表面や内部に穴が開く)のでしっかり取っておきましょう。
- 3の加熱時間は、容器により時間が変わるので様子を見て調節しましょう。



低温でじっくり焼くことで、
柔らかな食感で味わい深いプリンに。

ウェルネオシュガー株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1
☎ 03-3668-1246 (総務部)
ホームページアドレス <https://www.wellneo-sugar.co.jp>

表紙 松成 真理子 (イラストレーター・絵本作家)

子供の本を中心に幅広い分野で活躍している。『まいごのどんぐり』(童心社)で児童文芸新人賞受賞。その他絵本に『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『じいじのさくら山』(白泉社)、『たなばたまつり』(講談社)、『雨二モマクス』(あすなる書房)など多数。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。